



平成 24 年 7 月 19 日

各 位

会 社 名 株式会社ワイヤレスゲート
代表者名 代表取締役 CEO 池田 武弘
(コード番号: 9419)
問合せ先 取締役コーポレート・
マネジメントグループ長 小島 聡
(TEL. 03-6433-2045)

東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 24 年 7 月 19 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【単体】

(単位：百万円、%)

項目 \ 決算期	平成 24 年 12 月期 (予想)			平成 23 年 12 月期 (実績)		平成 24 年 12 月期 第 1 四半期累計期間 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比
売上高	5,582	100.0	162.2	3,440	100.0	1,231	100.0
営業利益	558	10.0	144.5	386	11.2	152	12.4
経常利益	548	9.8	141.8	386	11.2	152	12.4
当期(四半期)純利益	412	7.4	147.7	279	8.1	152	12.4
1 株 当 た り 当期(四半期)純利益	187 円 71 銭			13,545 円 90 銭 (135 円 46 銭)		7,401 円 65 銭 (74 円 02 銭)	
1 株 当 た り 配 当 金	—			—		—	

- (注) 1. 当社は子会社がありませんので、連結財務諸表は作成しておりません。
2. 平成 23 年 12 月期(実績)及び平成 24 年 12 月期 第 1 四半期累計期間(実績)の 1 株当たり当期(四半期)純利益は、期中平均発行済株式数により算出しております。
3. 当社は、平成 24 年 5 月 16 日付で株式 1 株につき 100 株の株式分割を行っております。当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行った場合の数値を()内に記載しております。
4. 平成 24 年 12 月期(予想)の 1 株当たり当期純利益は、公募株式数(300,000 株)を含めた予定期中平均発行済株式数により算出しております。



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年7月19日

上場会社名 株式会社ワイヤレスゲート

上場取引所 東

コード番号 9419

URL <http://www.wirelessgate.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役CEO

（氏名）池田 武弘

問合せ先責任者（役職名） 取締役コーポレート・
マネジメントグループ長

（氏名）小島 聡

TEL 03-6433-2045

四半期報告書提出予定日 —

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年12月期第1四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	1,231	—	152	—	152	—	152	—
23年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	74.02	—
23年12月期第1四半期	—	—

（注）1. 当社は、平成23年12月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成23年12月期第1四半期及び平成24年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率の記載をしておりません。

（注）2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、新株予約権の残高はありますが、当社株式は平成24年12月期第1四半期においては非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。

（注）3. 当社は、平成24年4月18日開催の当社取締役会決議に基づき、平成24年5月16日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	1,616	874	54.1
23年12月期	1,394	722	51.8

（参考）自己資本 24年12月期第1四半期 874百万円 23年12月期 722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	—	—	0.00	0.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

（％表示は、通期は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,582	62.2	558	44.5	548	41.8	412	47.7	187.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年12月期 1 Q	2,061,200株	23年12月期	2,061,200株
② 期末自己株式数	24年12月期 1 Q	－株	23年12月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年12月期 1 Q	2,061,200株	23年12月期 1 Q	－株

（注）当社は、平成24年4月18日開催の当社取締役会決議に基づき、平成24年5月16日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、株式数を算定しております

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
2. 当社は、平成24年4月18日開催の当社取締役会決議に基づき、平成24年5月16日付で株式1株につき100株の株式分割を行っております。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢で高い失業率からの改善、企業活動や個人消費の回復などを背景に、景気が緩やかに持ち直してきておりますが、東日本大震災による物理的な被害や、その後の電力不足及び放射性物質の影響、また欧州債務危機の再燃懸念による円高の影響等により依然として厳しい状況が続いております。

一方で、無線データ通信サービスの利用が想定されるスマートフォン、タブレット端末等の国内出荷台数は拡大しており、平成24年1月から3月のスマートフォン出荷台数は4,234万台（前年同期比220.4%）となりました。

（出所：一般社団法人電子情報技術産業協会）

このような状況の下、当社といたしましては、引き続きワイヤレスゲート・サービス、ワイマックス・サービスを安定的に拡大しながら、市場ニーズに合わせた事業の拡大を目指してまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は1,231,720千円、営業利益は152,835千円、経常利益は152,744千円、四半期純利益は152,562千円となりました。

当社は単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。サービスごとの取組みは以下の通りであります。

① ワイヤレス・ブロードバンドサービス

イ. ワイヤレスゲート・サービス

引き続きスマートフォン利用者のWi-Fi利用が拡大している中、Android OS向け接続ソフトウェア「WGConnect for Android」の機能拡充及び海外におけるWi-Fi接続エリアの拡大等を行うことで、更なる利便性の向上を図ってまいりました。この結果、当第1四半期累計期間のワイヤレスゲート・サービスの売上高は204,539千円となりました。

ロ. ワイマックス・サービス

新規会員の更なる獲得を図るべく、積極的にキャンペーンを展開したこと等により、引き続き加入者数は増加傾向にあります。この結果、当第1四半期累計期間のワイマックス・サービスの売上高は1,025,543千円となりました。

② ワイヤレス・プラットフォームサービス

ワイヤレス・ブロードバンドサービスの基盤プラットフォームである、「公衆無線LANサービスのID・パスワード認証及び課金システム」を法人向けに提供しております。当第1四半期累計期間のワイヤレス・プラットフォームサービスの売上高は1,100千円となりました。

③ その他

「ヨドバシカメラ@wig card（プリペイドカード）プラン」の販売等になります。当第1四半期累計期間は536千円の売上高となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

（資産の部）

当第1四半期会計期間末における資産の合計は、前事業年度末に比べ221,468千円増加し、1,616,330千円となりました。流動資産に関しては、主に売上高の増加による現金及び預金並びに売掛債権の増加により227,062千円増加し、1,540,416千円となりました。

（負債の部）

当第1四半期会計期間末における負債の合計は、前事業年度末に比べ68,905千円増加し、741,427千円となりました。流動負債に関しては、主に売上高の増加に伴う支払債務の増加により68,943千円増加し、736,048千円となりました。

（純資産の部）

当第1四半期会計期間末における純資産の合計は前事業年度末に比べ152,562千円増加し、874,903千円となりました。これは四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります

(3) 業績予想に関する定性的情報

スマートフォン、タブレット端末等の普及拡大に伴い、この先、更に無線データ通信サービスの利用拡大が見込まれます。

このような事業環境の下、当社は主力のワイヤレス・ブロードバンドサービスの新規会員獲得に力を入れ、家電量販店における積極的なキャンペーンの開催、インターネット上での広告強化等に取り組んでおります。また、サービス利用者の更なる利便性向上及び新規サービス展開への布石を目的とした、Wi-Fi接続アプリケーションの提供により、収益の拡大を図っております。

費用面では、販売の拡大に伴い通信回線利用料、販売手数料等が増加する見込であります。契約条件の見直し等により、費用の削減を図ってまいります。

この結果、平成24年12月期の業績予想として、売上高5,582百万円（前年同期比62.2%増）、営業利益558百万円（前年同期比44.5%増）、経常利益548百万円（前年同期比41.8%増）、当期純利益412百万円（前年同期比47.7%増）を予想しております。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（1株当たり当期純利益に関する会計基準等の適用）

当第1四半期会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日公表分）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

この適用により、当第1四半期会計期間末後に株式分割を行いました。当第1四半期累計期間の期首に行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	750,838	941,378
売掛金	393,997	431,747
その他	170,869	169,872
貸倒引当金	△2,351	△2,582
流動資産合計	1,313,353	1,540,416
固定資産		
有形固定資産	70,072	65,328
無形固定資産	5,859	5,051
投資その他の資産	5,576	5,534
固定資産合計	81,508	75,914
資産合計	1,394,862	1,616,330
負債の部		
流動負債		
買掛金	500,884	569,121
未払法人税等	3,055	1,740
その他	163,165	165,187
流動負債合計	667,105	736,048
固定負債		
その他	5,417	5,378
固定負債合計	5,417	5,378
負債合計	672,522	741,427
純資産の部		
株主資本		
資本金	616,139	616,139
資本剰余金	555,529	555,529
利益剰余金	△449,327	△296,764
株主資本合計	722,340	874,903
純資産合計	722,340	874,903
負債純資産合計	1,394,862	1,616,330

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	1,231,720
売上原価	804,073
売上総利益	427,646
販売費及び一般管理費	274,811
営業利益	152,835
営業外収益	
受取利息	0
雑収入	30
営業外収益合計	30
営業外費用	
為替差損	120
営業外費用合計	120
経常利益	152,744
税引前四半期純利益	152,744
法人税、住民税及び事業税	237
法人税等調整額	△55
法人税等合計	181
四半期純利益	152,562

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期会計期間
(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

(株式分割)

当社は、平成24年4月18日開催の取締役会の決議に基づき、次のとおり株式分割を行っております。

1. 株式分割の目的

全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨に鑑み、当社株式の売買単位を100株とするため、1単元を100株とする単元株制度を採用するとともに、1株につき100株の割合とする当社発行株式の分割の決議を行いました。なお、単元株制度及び株式分割の効力発生日はいずれも平成24年5月16日であります。

2. 株式分割の概要

① 分割の方法

平成24年5月15日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式1株につき100株の割合をもって分割しております。

② 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数20,612株

今回の分割により増加する株式数2,040,588株

株式分割後の発行済株式総数2,061,200株

株式分割後の発行可能株式総数7,200,000株

③ 新株予約権の行使価額の調整

今回の株式分割に伴い、当社がストック・オプションとして発行した新株予約権の1株当たりの権利行使価額を平成24年5月16日以降、次のとおり調整いたします。

	調整前行使価額	調整後行使価額
第1回ストック・オプション	70,000円	700円
第2回ストック・オプション	73,000円	730円
第3回ストック・オプション	73,000円	730円
第4回ストック・オプション	73,000円	730円
第5回ストック・オプション	73,000円	730円
第6回ストック・オプション	73,000円	730円
第7回ストック・オプション	73,000円	730円
第8回ストック・オプション	100,000円	1,000円